

カラスはなぜくろい

松田栄清 (1895・M28) 字喜名 (00 : 46)

ガラシえー、昔^{んかし} え鷹^{たか}め類^{どろー} やたんでい。今^{なま}じぶん
飛^とりあっちゆる鷹^{たか}てー。

あんやしが、うぬガラサーや鷹^{たか}やか頭^{ちぶる} おちちよ
ーてーるばーてー。あんし、狩^{かりびと}人^{ちゃー}ぬ来^うに撃^うちゆんで
いしーねー、だー、うれー真^まっ白^{しーら} そーれー分^わか
いやっさぬ、撃^うたりーくとう。

あんさーに、あぬー昔^{んかし} えあんぐとーる染^{すーむん}物^{すし}すし
えー藍^{いえー}んでいたんよー。うりから、うぬ藍^{いえー}ぬじゅ
る所^{とくくる} お山^{やま}をうているすたさ、畑^{はる}をうている、うぬ
水^{みじ}さらしるやくとう。

あんさーに、其^{うんま}処^{はに}んじ羽^すえ染^{くるー}みてい黒^{くろー}なたくと
う、木^{きー}ぬ中^{みー}んかい居^{をう}しえーなんじゅ分^わからん。うり
からガラサーや黒^{くるー}なたんでいる物^{むぬがたり}語^{むぬがたり}やたんでー。

【共通語訳】

昔、カラスは鷹の姿だったそうだ。今の季節に渡る鷹みたいだね。

だけど、カラスは鷹よりも知恵があったんでしょ
うね。狩人が来たら真っ白い姿ではすぐに見つけら
れ、撃たれてしまうからと考えた。

昔は染め物をするには「藍」というものを使い、水
のある山や畑で染めていた。

そこで、カラスは羽を黒く染めたので、林の中でも
見つからないようになった。それからカラスは黒く
なったという物語だったよ。